

有機農業技術のつぼ

作物名	ハトムギ
対応技術の項目	その他
	施肥・栽培改善法
	適正な栽培方法の確立

《情報収集先の経営概要等》
 名寄市 公益財団法人 農業・環境・健康研究所 名寄研究農場
 昭和50年より自然農法を実施（有機年数39年）
 経営耕地面積 6.6ha（全面有機）

油用ヒマワリ	3.35ha	緑肥用ヒマワリ	1 ha
ばれいしょ	0.34ha	赤クローバ	0.78ha
かぼちゃ	0.17ha	ハトムギ	0.62ha
世界のヒマワリ展示	0.16ha	教育ファーム	0.16ha
その他	0.02ha		

労働力 従業員10人
 有機JAS認定の取得状況 平成14年取得

問題点

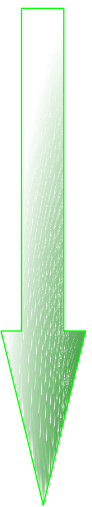
ハトムギの有機栽培の方法が不明であった



- ハトムギを有機栽培する場合の適正な栽植密度や施肥量等が不明で、収量が上がらなかった。

対応

栽培試験を行い、栽植密度や施肥量を検討した つぼ

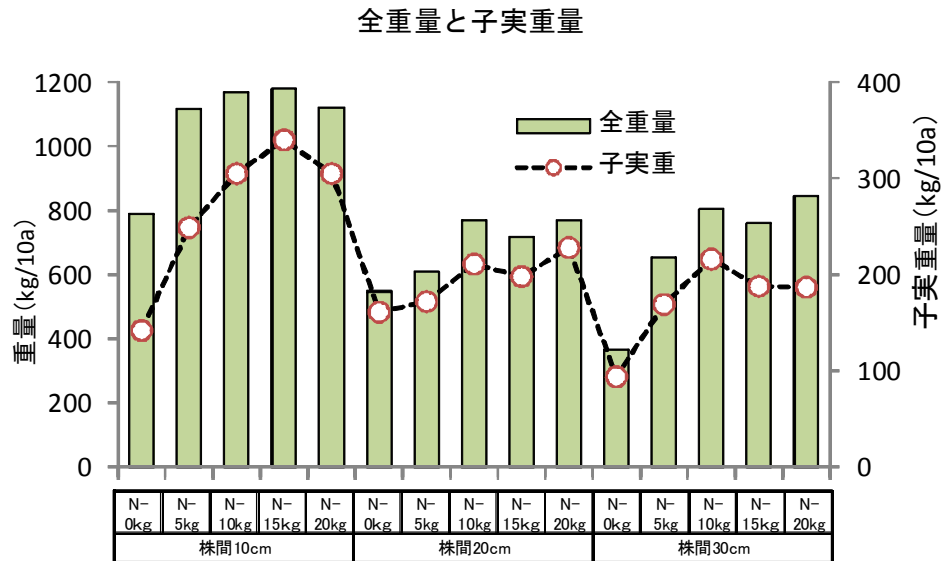
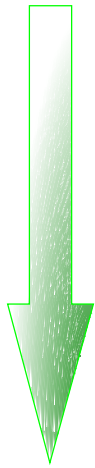


- 株間や施肥量を段階的に変えた栽培試験を実施した。（結果は下表のとおり。）
- 使用資材（成分） N4.2%、P9.6%、K1.2%
 （原料） 米ぬか、なたねかす、大豆かす、グアノリン酸

処理区別生産重量

	重量(kg/10a)			乾物重量(kg/10a)			
	茎葉	子実	合計	茎葉	子実	合計	
10cm	N0	648	142	790	562	120	682
	N5	868	249	1117	745	211	956
	N10	864	305	1169	740	258	998
	N15	839	340	1179	723	287	1010
	N20	816	305	1121	700	258	958
20cm	N0	387	161	548	332	136	468
	N5	436	172	608	372	146	518
	N10	559	211	770	479	178	657
	N15	520	198	718	446	168	614
	N20	540	228	768	462	191	653
30cm	N0	274	94	368	237	79	316
	N5	486	169	655	420	142	562
	N10	588	216	804	502	181	683
	N15	571	188	759	486	158	644
	N20	657	187	844	559	158	717

注) 畦幅は73cm、栽培品種「北のハト」



ハトムギほ場

成 果

適正な栽培方法を確立した

□ 栽培試験の結果、適正な栽培方法は次のとおりであった。

【ハトムギ】

- ・ 対象品種名 : 北のハト
- ・ 栽植密度の適正值 : 畦幅 73cm × 株間 10cm
- ・ 施肥量の適正值 : 施肥窒素量 5kg/10a

（試験結果からは施肥量15kg/10aで最高収量となるが、環境負荷や肥料コストを勘案し、収量が安定する5kg/10aを適正值とした。）

※ **対応技術活用上の注意点**

- ・ 発芽まで1か月以上かかるので、機械除草をこまめにする必要がある。
- ・ 発芽には水分が必要なので、必要に応じてかん水を行う。
(ハトムギの流通は契約栽培が主流なので、販路の確保が必要である。)